

# 日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 29 No. 2(通巻 77号)

2017年12月15日

## ～第19期ごあいさつ号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 田中 夏子  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階  
JC 総研 (日本協同組合総合研究所) 協同組合研究部内 日本協同組合学会事務局  
TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761  
E-mail:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp  
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

## 第 19 期会長ごあいさつ

### 会長就任にあたって～社会的共有財としての協同を守り育てる

会長 田中 夏子

第19期(2017年10月～2019年9月)、日本協同組合学会会長を務めることとなりました田中夏子です。私自身は甚だ力不足ではありますが、様々な領域の経験豊かな実践家、研究者によって構成される常任理事会、理事会、そして会員の皆さんとの協力のもと、これから2年間、学会運営を行なっていく所存です。

本学会は、制度上の協同組合組織はもとより、協同組合の原基ともいえる市民の自治的活動や協同事業も含め、その研究的・実践的課題を探求してきました。日本の協同組合は種別を問わず、総合性、地域密着性、市民の自己組織化支援、SDGsの志向等、国際的にも着目される取り組みを蓄積してきましたが、それぞれの領域を横断する水平的展開となると、課題は多く残されています。前期(第18期)は、こうした課題をとらえ、石田前会長のもと「協同組合間の連携・連結」を重点項目の一つとしてきました。今期もこうした流れを踏襲しつつ、あらためて「社会的排除との闘い」「(本来の意味での)補完性原理の探究」「社会的共有財の保全」といった協同組合に備わる3つの軸について、地域はもとより、国際社会も射程にいれ、協同組合や幅広い市民の協同組織相互の学びあいを土台に、具体的な連携を深めてまいりたいと考えています。

目下、地域、生活、産業・労働等の領域における日本の諸政策は、分断的機能を強めています。地域政策においては、これまでは経済活動に対して使用されてきた「集中と選択」概念が地域運営でも導入され、その結果、農山漁村や地方都市の「生き残り」が喧伝され、内発的に展開してきたはずの地域づくりがかく乱されつつあります。生活領域においても、福祉政策に顕著に見られるように、自前の「共生」を参加型で構築しようと奮闘してきた市民たちが、その活動基盤となる制度の縮小に危機感を募らせています。大企業においても効率最優先の掛け声の中、不本意な仕事を迫られる労働現場が広がり、政府が進める働き方改革は、およそ「ディーセントワーク」とは逆行する内容です。いずれも協同組合や非営利・協同組織が当事者として深く関わり、排除に抗する流れをつくろうと試行錯誤している領域です。

また、協同組合は直近の地域での取り組みを起点としつつも、自らの生活の安寧が途上国等の現状にどう接合しているかにも敏感であらねばなりません。2016年春大会の際の、理事会による

「TPPの批准反対」声明も、日本のグローバル企業が途上国の経済や環境、健康に負の影響を及ぼしてきた現状を踏まえ、日本側には被害的側面のみならず、加害的側面があることを確認する内容となっています。国際社会における市民相互の草の根の連帯が切に求められる今日、協同組合を通じた連携はその具体的方策として重要です。

さらに現在は、平和の希求についても「他人まかせにできない」時代です。協同組合にとっては自明の課題ですが、あらためてその重要性をあらゆる機会をとらえて確認する必要があります。前期は、「共謀罪」に関わる学習会も開催しました。市民的協同の基本である「自治」が監視の対象となるならば、協同組合や市民活動の存立自体が危うくなる可能性も否めません。災害や戦争に乗じる資本主義の冷徹性に替わる経済の仕組みを構想することも、協同組合が負うべき役割といえましょう。

過大な課題を列挙しましたが、その一部をわずかでも前進させられるよう、取り組んでまいりたいと考えます。

◇常任理事の役割分担は下記の通りです。

会長	田中 夏子（大学非常勤講師・農）
副会長（編集委員会・学会誌賞担当）	北川 太一（福井県立大学）
副会長（企画・学会賞担当）	大高 研道（明治大学）
副会長（国際・総務担当）	勝又 博三（JC 総研）
企画担当（企画・学会賞担当）	高橋 巖（日本大学）
企画担当（企画・学会賞担当）	小山 良太（福島大学）
企画担当（企画担当）	野口 敬夫（東京農業大学）
企画担当（企画担当）	中村 久子（NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会）
編集委員長	走井 洋一（東京家政大学）
編集委員	伊丹 謙太郎（千葉大学）
編集委員（春大会等企画担当）	相良 孝雄（一般社団法人協同総合研究所）
編集委員	米澤 旦（明治学院大学）
編集委員・総務担当	岡本 一朗（大学生協）
国際担当	小林 康幸（全国農業協同組合中央会）
総務担当（NL 作成・HP 管理担当）	松本 典子（駒澤大学）
総務担当	伊藤 治郎（日本生活協同組合連合会）
総務担当	河村 浩史（全国漁業協同組合学校）
監 事	松岡 公明（農林漁業団体職員共済組合）
監 事	近本 聡子（公益財団法人生協総合研究所）

## **第 37 回 日本協同組合学会大会終了のご報告**

第 18 期企画担当 田中 夏子

去る 2017 年 9 月 22 日から 24 日の 3 日間にわたり、徳島大学常三島キャンパスにおきまして、第 37 回大会が執り行われました。まずは、大会開催に際し、多大なご尽力をいただきました玉真之介会員、橋本直史会員に、心より厚く御礼申し上げます。

初日の地域シンポジウムは、「協同組合の志～協同社会を地方から」をテーマとして、「資本主義の腐朽化」(玉会員)が極まる今日、その対抗軸を形成する地域の協同経済の様相を、理論・歴史研究と実践報告を通じて、多面的に描き出すものでした。

2 日目午前の個別報告数は、昨年よりもさらに上回り、6 会場で 29 の報告がなされました。

2 日目大会シンポは、松岡会員を座長とし、「新たな社会観の構想と非営利・協同のネットワークの課題」について大高会員、石田前会長の報告、またそれに対する志波会員、田嶋会員、岡村会員からの問題提起とコメントが発され、会場含めて活発な議論が行なわれました。

秋大会では、学会賞の発表および授賞式を実施しています。本年度の受賞は、学術賞として高瀬雅男会員による『反トラスト法と協同組合一日米の適用除外立法の根拠と範囲』が、奨励賞として米澤 且会員による『社会的企業への新しい見方—社会政策のなかのサードセクター』が、実践賞として、東とくしま農協上勝彩部会、協同組合ネットいばらきが、そして学会誌奨励賞として高橋祥世会員による論文「農協の総合的事業展開における女性部再編の意義～福岡県にじ農協を事例として～」(『協同組合研究』第 36 巻第 1・2 号掲載)がそれぞれ受賞の運びとなりました。

大会シンポ後の懇親会では、学生さんたちによる勇壮な阿波踊りが披露されたり、すだちを活用して開発された特産品を提供いただく等、徳島の文化と味に包まれた交流となりました。エクスカーションは、地域シンポで報告いただいた「いろどり」はじめ、各地の JA の取り組みを現場に学ぶ貴重な機会となりました。

大会シンポ、総会后議論の詳細につきましては、学会誌『協同組合研究』にて掲載予定です。

## **2018 年度春季大会および秋季大会の開催予定**

※ 大会プログラム等の詳細は、次回以降のニューズレターでお知らせするとともに、適宜HPにアップします。

### ●第 37 回春季研究大会

2018 年 5 月 12 日 (土) 日本労働者協同組合 (ワーカーズユープ) 連合会

※ 総会を開催します。

※ 5 月 11 日 (金) 午後 6 時～8 時 第 19 期第 2 回理事会 (場所未定)

### ●第 38 回秋季大会

2018 年 9 月 28 日 (金) ～30 日 (日) 弘前大学

9/28 (金) 午後：地域シンポジウム

9/29 (土) 午前：個別論題報告・テーマセッション

午後：大会シンポジウム、交流会

9/30 (日) エクスカーション

## **2018年度学会賞(「学術賞」「奨励賞」「実践賞」)の推薦について**

- 推薦期間：2018年1月から2018年6月30日(木)までの6ヶ月間。
- 推薦対象(詳細は、「学会賞表彰規程」「同細則」をご覧ください)
  - 学術賞：本学会に5年以上継続して所属している会員。同じ条件を満たす共同研究グループが受賞者となる場合は、賞の名称を「共同研究学術賞」とする。
  - 奨励賞：本学会に3年以上継続して所属する40歳未満の会員。
  - ※学術賞、奨励賞は、2018年6月末日に至る3年6ヶ月間に刊行された著書、論文、またはそれに準ずるもので、共同研究(共著論文)、シリーズ論文、翻訳書及び研究資料(いずれも優れた解題論文を含むもの)も選考の対象となる。
  - 実践賞：協同組合の発展に貢献し得る優れた実践及びその記録。
- 推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局(JC総研)に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

### **会費納入のお願い**

会費未納の方は至急納入をお願いします。会費は年6,000円(学生会員は3,000円)です。

郵便振替	加入者名：日本協同組合学会	口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫	本店(958)日本協同組合学会	普通預金 / 口座番号：NO. 5026910
三井住友銀行	飯田橋支店 日本協同組合学会	普通預金 / 口座番号：NO. 7033961